



陸軍作業會計法

修正案

大隈



414
A2636
2



號

軍作業會計法

東京砲兵工廠大阪砲兵工

廠及干住製絨所ハ其事業ヲ經營

スル為メ固定資本据置運轉資本

ヲ置キ作業上ノ收入及其附屬收

入ハ作業ノ歳入トシ之ヲ以テ直

ニ作業ノ歳出ニ充ルコトヲ許シ

特別ノ會計ヲ立テシム

第二條

東京砲兵工廠大阪砲兵工

廠^ニ於テハ從來使用及將來增加

スル^所機械及重要ナル器具ヲ以テ

固定資本トシ從來ノ營業資本額

ヲ以テ据置運轉資本トス

干住製絨所^ニ於テハ從來使用及

將來増加スル^所土地建物~~建築~~機械

其他重要ナル器具ヲ以テ固定資

本トシ從來ノ營業資本額ヲ以テ

据置運轉資本トス

第三條

東京及大阪砲兵工廠、職工

人夫、^諸費用材料素品及機械運轉

用品、購入費用、固定資本、屬、機

械器具、維持修理及某補充費工

業場、雜費並、損失金ヲ作業、

歲出トス

千住製絨所、俸給諸給旅費廠費

生産品販賣諸費職工人夫、^諸費用

材料素品及機械運轉用品、購入

費用、固定資本、維持修理、係、費

土地建物

用固定資本ニ屬スル機械器具ノ
維持修理及
補充費工業場ノ雜費並ニ損失金
ヲ作業ノ歲出トス

第四條 各特別會計
作業ノ歲出額、豫算定額
内ニ於テ實際
歲入及振置運轉資本
、合計額ヲ超過スル
得
許

第五條

固定資本 = 屬スル物件ノ賣

作業所、純益及

拂代金ハ總テ一般ノ歳入ニ編入ス

へ
ニ

第六條 政府ハ毎年各作業ハ歳入歳

出豫算ヲ調製シ歳入歳出ノ総豫算

ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

所特別會計

第七條

各作業所ニ於テ豫算外ニ軍

用品ノ製作修理ヲ要スル^{場合ニ於テ}其費

用ヲ補フ為メ其歳出豫算ニ豫備費

ヲ設ルコトヲ得

第八條 各作業所ニ於テ機械器具材
料素品及機械運轉用品ヲ外國ヨリ
買入ル・トキハ前金拂ヲ為スコト
ヲ得

第九條 各作業ノ^{特別會計}收入支出ニ關スル
規則^別ニ^別勅令ヲ以テ之ヲ定ムルニシ

第十條 本法は明治二十三年度ヨリ
施行ス其帝國議會ニ關涉スルモノ
ハ帝國議會開會後ノ會計年度ヨリ
施行ス



